

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

健康で明るい社会づくりと、社会連帯の輪の一層の深まりを目指して日々の活動を進める。善銀活動の根幹を下記の五大活動（4つの公益事業と1つのその他の活動）とし、善意のかけ橋としての機能のさらなる充実・強化を図った。

「公益事業1」…みんなで育てる親切・善行活動

「公益事業2」…みんなで支える福祉活動

「公益事業3」…みんなで進める啓発活動

「公益事業4」…みんなで励ます貸し出し活動

「その他の事業」…みんなで広げる拡充活動

【公益事業1】 みんなで育てる親切・善行活動

(1) 親切運動の企画

- ・親切運動の企画…親切運動企画委員会からの提言
親切運動に関して県内有識者に広く意見を求めた。
- ・親切運動委嘱校の選定…親切運動推進協力委嘱校
小・中・高の3校種から計28校の推進委嘱校を選定し、運動推進の核とした。
委嘱は2年間とし、半数を今年度新たに委嘱した。
- ・親切運動の激励…親切運動推進の助成
委嘱校における親切運動の推進に必要な物品購入費、活動補助費等を助成した。

(2) 親切運動の推進

- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開①…運動の依頼
親切運動の歴史や意義、取組例や過去の課題等について、文書で周知した。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開②…運動の具体
アルミ缶集め、挨拶運動の展開、親切運動の木の活動、あったか言葉の募集
など活動の具体化を検討し、活動内容を決定した。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開③…運動の実際
②で決定した運動を児童会・生徒会・運営委員会等のリーダーシップのもと、
実際に進めた。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開④…運動の見直し
1年間の実際の実績の成果を文書でまとめる。全委嘱校の取組をまとめて、
冊子を県内全学校に配布した。

(3) 親切運動の推進・強化

- ・親切運動の強調月間の設定
年に2回、春と秋に親切運動の強調月間を設定し、親切運動の徹底を強化した。
春… 5月18日～ 6月18日
秋… 10月18日～ 11月18日
学校以外への浸透を図るため、一般の人たちへの啓発活動に努めた。
- ・標語・ポスターの配布…啓発活動
委嘱校を中心に、親切運動に関するポスターを配布した。

(4) 親切・善行感謝の集い

- ・善行者の顕彰
公的機関（公民館、地区センター、学校長、県内善意銀行等）から推薦された
地道に善行を実践している方々の善行を讃えて敬意を表し顕彰した。

(5) 県内善意銀行との連携

- ・親切運動に関する共通理解の促進
富山県内14行の善意銀行が連絡協議会を開催し、連絡を密にしながら親切運
動に関して共通事業を実施した。

(6) 各種学校、公民館、地区センターとの連携

- ・善行者の推薦、ポスターの掲示

【公益事業2】 みんなで支える福祉活動

(1) 社会福祉施設の子供たちを激励

- ・ ひまわり映画会の実施（児童福祉施設へ映画チケット等の費用贈呈）
児童福祉施設の子どもたちが一緒に映画を観覧し友情を深め、教養を高めた。
- (2) 障害者団体への支援、激励
 - ・ 障害者団体を通じた支援
各種団体が主催する行事（障害者成人式、季節ごとのイベント、スポーツ大会等）の開催費等を補助した。
- (3) 難病とたたかう人たちへの激励
富山県厚生部と連携した難病等とたたかう富山県出身者はいなくなった。
- (4) 老人福祉施設利用者への激励
老人福祉施設に入所あるいは通所している老人の皆さんに趣味の世界を拡げていただくと同時に自らの作品をふりかえるきっかけにするための県内善意銀行と共催の県内老人福祉施設等趣味を開催した。出展された施設ならびに個人に対して出展参加証を贈った。

【公益事業3】 みんなで進める啓発活動

- (1) 健康の増進、健康な生活に関する関心の拡大
 - ・ ポスターの掲示、リーフレットの配布
親切運動の拡充、福祉活動の徹底、啓発活動の推進を目指してポスターならびにリーフレットを公的機関（学校、公民館、地区センター等）に配布した。
 - ・ 三献運動の展開
三献運動（献血運動、献眼運動、献体運動）を拡げるため、富山県血液センター、富山県アイバンク、富山大学医学部しらゆり会等と連携を密にし、事業紹介に努めた。
- (2) 預託者表彰
 - ・ 全国表彰は現在中止している。親切善行感謝の集いにおいて、富山県善意銀行推薦として善行者ならびに多額の預託者を推薦、顕彰した。
- (3) 会報の発行
 - ・ 会員相互の共通理解の促進
会員相互の共通理解の促進と善銀活動の趣旨の徹底のため会報を年3回（1月、5月、9月）発行し、会員と県内公的機関へ配布した。
- (4) 善銀活動の趣旨の徹底
 - ・ 関係諸団体との連携
県（関係各部署）、市町村（関係各部署）、報道機関、社会福祉団体等への趣旨や事業の説明のため、小学校長会、中学校長会、高等学校長協会へ善銀活動を拡げるため、善意銀行紹介パンフレットを作成し配布した。
また、善意の提供者（金員預託、物品預託、ボランティアの提供等）を週に1度水曜日の朝刊に善意のともしび欄で善行を紹介するとともに本行会報に掲載した。
 - ・ 本行の活動の広報の充実
本行の善行活動を紹介する機会を増やすため、県内報道機関（新聞社、テレビ局等）に取材依頼を行う、ホームページやSNS等の充実させる等、県民への本行への理解を深めた。
- (5) 各地で発生した災害による被災者支援のよびかけ
 - ・ 被災者キャンペーンの実施
未曾有の大災害に遭った被災者を物心両面から支えるため、そして一刻も早い復旧を目指して支援の呼び掛けを行った。

【公益事業4】 みんなで励ます貸し出し活動

- (1) 交通遺児、生活保護世帯児の皆さんを激励
 - ・ 福祉活動の趣旨に賛同される方々からの預託による貸し出し
交通遺児ならびに0歳～中学生の生活保護世帯児の皆さんを励ますために、ギフトカードを配布した。
- (2) 社会福祉施設入所者等を激励、支援
 - ・ 歳末貸し出しの助成
老人福祉施設、養護施設、里親会の皆さんを励ますため、ミカンを贈呈した。

- ・年度末貸し出しの助成
片親家庭支援3団体に年度末貸出を行い。片親家庭への支援を行った。
- ・敬老の日お祝い貸し出しの助成
趣味の作品展当日に、社会福祉施設の皆さんを励ますため、激励品を贈呈した。
- ・子ども食堂への支援
県内の子ども食堂の円滑な運営のために支援金を贈呈した。
- ・生活困窮者への支援
富山市生活支援課を訪ねてくる生活困窮者への当座の食料を提供した。
- (3) 発展途上国などへの子供たちへの支援
 - ・日本赤十字社、ユニセフ、ユネスコ、などとの連携
発展途上国ならびに外国の大型災害による被災地への人々等へ支援を行った。

【その他の事業】みんなで広げる拡充活動（具体的には5事業の推進）

- (1) 公益社団法人の広報
 - ・公益法人のメリット
税制上の優遇措置のお知らせ等を行い、県民の善意としての預託金が集まりやすくなるよう努めた。
- (2) 預託の拡充
 - ・企業、個人からの預託
個人には折に触れた浄財（年忌供養預託等）、記念預託（快気預託、誕生記念預託、各種イベント等）を呼びかけた。また、各種施設（企業、公的施設、民間施設等）に善意のともしび箱（募金箱）の設置を依頼した。
- (3) 新規会員の拡充
 - ・新規会員の勧誘
新規会員を増やすため、活動紹介パンフレットならびに会報を郵送し、会員拡充を図った。
 - ・色紙等頒布展における会員の拡充
色紙等頒布展を特別会員募集強調特設日として位置づけ、展示した作品を入手希望される方々を新規会員として登録し、そのご芳志を特別会員会費として処理し、善銀活動に善用した。
そのためにテレビ広告、新聞広告、ホームページ、SNSでの作品紹介等に努めた。
- (4) 同種活動機関との連携
 - ・研修会への参加
全国善意銀行連絡協議会が行う‘総会’‘研修会’‘定例会’は、現在中止。
県外善銀とは、文書や電話連絡等で情報交換を行った。
 - ・社会福祉施設等との情報交換
社会福祉関係施設等の現場のニーズを把握するために施設等と情報交換を行った。
- (5) 県内善意銀行との連携
 - ・県内14善意銀行との連携を密にし、研修会（定例研修会：6月実施）を実施し、共通理解を図った。

《事業報告の附属明細書》

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属証明書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

令和7年6月
公益社団法人富山県善意銀行

令和6年度 収支決算報告書(案)

貸借対照表

2025年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,466,934	2,744,544	△ 277,610
公 益 目 的 事 業 会 計	8,052,951	7,596,141	456,810
法 人 会 計	△ 8,052,951	△ 7,596,141	△ 456,810
前 払 費 用	88,220	88,220	0
流動資産合計	2,555,154	2,832,764	△ 277,610
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	1,856,000	1,567,000	289,000
特 定 資 産 ・ 現 金 預 金	7,684,851	5,684,851	2,000,000
貸 出 活 動 準 備 資 金	3,000,000	3,000,000	0
70 周 年 記 念 活 動 積 立 資 金	400,000	200,000	200,000
特定資産合計	12,940,851	10,451,851	2,489,000
(3) その他固定資産			
建 物	4,861	34,021	△ 29,160
什 器 備 品	300,002	300,002	0
敷 金	626,400	626,400	0
長 期 性 預 金	4,269,909	4,262,125	7,784
その他固定資産合計	5,201,172	5,222,548	△ 21,376
固定資産合計	18,142,023	15,674,399	2,467,624
資産合計	20,697,177	18,507,163	2,190,014
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	0	39,529	△ 39,529
預 り 金	78,579	118,416	△ 39,837
賞 与 引 当 金	409,333	395,000	14,333
流動負債合計	487,912	552,945	△ 65,033
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	1,856,000	1,567,000	289,000
固定負債合計	1,856,000	1,567,000	289,000
負債合計	2,343,912	2,119,945	223,967
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
寄 付 金	7,684,851	5,684,851	2,000,000
指定正味財産合計	7,684,851	5,684,851	2,000,000
(うち特定資産への充当額)	(7,684,851)	(5,684,851)	(2,000,000)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	10,668,414	10,702,367	△ 33,953
一般正味財産合計	10,668,414	10,702,367	△ 33,953
(うち特定資産への充当額)	(3,400,000)	(3,200,000)	(200,000)
正味財産合計	18,353,265	16,387,218	1,966,047
負債及び正味財産合計	20,697,177	18,507,163	2,190,014

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[6,251,942]	[7,260,816]	[△ 1,008,874]
正 会 員 受 取 会 費	3,552,072	3,716,261	△ 164,189
特 別 会 員 受 取 会 費	2,699,870	3,544,555	△ 844,685
受 取 補 助 金 等	[981,000]	[1,981,000]	[△ 1,000,000]
受 取 補 助 金 等 振 替 額	981,000	1,981,000	△ 1,000,000
受 取 寄 付 金	[17,996,909]	[13,813,994]	[4,182,915]
受 取 寄 付 金	7,832,023	7,971,496	△ 139,473
募 金 収 益	186,052	285,991	△ 99,939
受 取 寄 付 金 振 替 額	9,978,834	5,556,507	4,422,327
特 定 資 産 運 用 益	[880]	[12]	[868]
特 定 資 産 受 取 利 息	880	12	868
雑 収 益	[23,904]	[13,178]	[10,726]
受 取 利 息	10,904	178	10,726
雑 収 益	13,000	13,000	0
経常収益計	25,254,635	23,069,000	2,185,635
(2) 経常費用			
事 業 費	[22,215,467]	[19,323,862]	[2,891,605]
給 料 手 当	3,805,020	3,748,140	56,880
福 利 厚 生 費	661,891	657,517	4,374
旅 費 交 通 費	25,500	20,500	5,000
通 信 運 搬 費	564,474	516,213	48,261
減 価 償 却 費	26,244	26,244	0
消 耗 品 費	139,108	191,192	△ 52,084
印 刷 製 本 費	619,565	648,358	△ 28,793
光 熱 水 料 費	32,293	45,230	△ 12,937
賃 借 料	1,094,852	1,131,979	△ 37,127
諸 謝 金	88,000	108,000	△ 20,000
支 払 助 成 金	4,688,748	6,272,686	△ 1,583,938
指 定 貸 出 事 業 費	9,763,834	5,224,626	4,539,208
賞 与 引 当 金 繰 入	368,400	355,500	12,900
退 職 給 付 費	260,100	258,300	1,800
雑 費	77,438	119,377	△ 41,939
管 理 費	[3,073,121]	[4,147,181]	[△ 1,074,060]
給 料 手 当	422,780	416,460	6,320
福 利 厚 生 費	73,543	73,057	486
旅 費 交 通 費	57,000	50,000	7,000
通 信 運 搬 費	332,946	336,478	△ 3,532
減 価 償 却 費	2,916	2,916	0
消 耗 品 費	472,901	593,422	△ 120,521
印 刷 製 本 費	340,847	1,243,519	△ 902,672
光 熱 水 料 費	3,588	5,026	△ 1,438
賃 借 料	394,864	401,491	△ 6,627
諸 謝 金	438,685	453,732	△ 15,047
支 払 負 担 金	29,500	29,500	0
会 議 費	(194,444)	(193,906)	(538)
総 理 事 会 費	89,359	81,231	8,128
理 事 会 費	42,065	43,515	△ 1,450
会 議 飲 食 費	63,020	69,160	△ 6,140
新 聞 図 書 費	53,440	47,860	5,580

科 目	当年度	前年度	増 減
賞 与 引 当 金 繰 入	40,933	39,500	1,433
退 職 給 付 費 用	28,900	28,700	200
雑 費	185,834	231,614	△ 45,780
経常費用計	25,288,588	23,471,043	1,817,545
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 33,953	△ 402,043	368,090
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 33,953	△ 402,043	368,090
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 33,953	△ 402,043	368,090
一般正味財産期首残高	10,702,367	11,104,410	△ 402,043
一般正味財産期末残高	10,668,414	10,702,367	△ 33,953
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	[981,000]	[1,981,000]	[△ 1,000,000]
受取地方公共団体補助金	900,000	1,400,000	△ 500,000
受取民間補助金	0	500,000	△ 500,000
受取地方公共団体助成金	81,000	81,000	0
受 取 寄 付 金	[11,978,834]	[5,556,507]	[6,422,327]
受 取 寄 付 金	11,978,834	5,556,507	6,422,327
一般正味財産への振替額	[△ 10,959,834]	[△ 7,537,507]	[△ 3,422,327]
一般正味財産への振替額	(△ 10,959,834)	(△ 7,537,507)	(△ 3,422,327)
地方公共団体補助金	△ 900,000	△ 1,400,000	500,000
民間補助金	0	△ 500,000	500,000
地方公共団体助成金	△ 81,000	△ 81,000	0
寄 付 金	△ 9,978,834	△ 5,556,507	△ 4,422,327
当期指定正味財産増減額	2,000,000	0	2,000,000
指定正味財産期首残高	5,684,851	5,684,851	0
指定正味財産期末残高	7,684,851	5,684,851	2,000,000
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	18,353,265	16,387,218	1,966,047

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産・・・定額法による。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上する。

退職給付引当金・・・当年度末における退職給付債務（期末要支給額）に相当する金額を計上する。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理による。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 (該当なし)				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
現金預金	5,684,851	2,000,000	0	7,684,851
退職給付引当資産	1,567,000	289,000	0	1,856,000
70周年記念活動積立資金	200,000	200,000	0	400,000
貸出活動準備資金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	10,451,851	2,489,000	0	12,940,851
合 計	10,451,851	2,489,000	0	12,940,851

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産 (該当なし)				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
現金預金	7,684,851	(7,684,851)	(0)	—
退職給付引当資産	1,856,000	—	—	(1,856,000)
70周年記念活動積立資金	400,000	(0)	(400,000)	—
貸出活動準備資金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
小 計	12,940,851	(7,684,851)	(3,400,000)	(1,856,000)
合 計	12,940,851	(7,684,851)	(3,400,000)	(1,856,000)

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	561,600	556,739	4,861
什器備品	540,280	240,278	300,002
合 計	1,101,880	797,017	304,863

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
(該当なし)			
合 計			

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く）等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
(該当なし)			
合 計			

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
社会福祉事業の補助金	県	0	900,000	900,000	0	
事業経費の補助金	市町村	0	81,000	81,000	0	
合 計		0	981,000	981,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
(該当なし)				
基金計				
代替基金				
(該当なし)				
代替基金計				
合 計				

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 目的達成による指定解除額	10,959,834
経常外収益への振替額 (該当なし)	
合 計	10,959,834

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属 性	法人等の 名称	住 所	資産 総額 (単位： 円)	事業の 内容又は 職業	議決権 の所有 割合	関係内容		取引の 内容	取引 金額	科目	期末 残高 (単位： 円)
						役員 の兼 務等	事業 上の 関係				
(該当なし)											

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末	当期末
(該当なし)	(該当なし)

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
(該当なし)	(該当なし)

16. 重要な後発事象

該当なし

17. その他

退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	1,856,000
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	1,856,000

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	289,000
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	289,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産 (注記に記載)					
	基本財産計				
特定資産 (注記に記載)					
	特定資産計				

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	395,000	409,333	395,000	0	409,333
退職給付引当金	1,567,000	289,000	0	0	1,856,000

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	160,203
	預金	北陸銀行 本店営業部 普通預金	〃	70,565
		〃 向川原町支店 普通預金	〃	1,247,073
		郵便貯金		989,093
				2,466,934
	前払費用		賃借料の未経過分	88,220
流動資産合計 (A)				2,555,154
(固定資産)				0
基本財産				
特定資産	特定資産・現金預金	富山第一銀行 ニューセンター支店 普通預金	寄附者が使途を指定して又は管理運用方法に条件を付して寄附した寄附金	7,684,851
	退職給付引当資産	北陸銀行 向川原町支店 普通預金	職員等に対する退職金の支払分	1,856,000
	70周年記念活動積立資金	富山第一銀行 ニューセンター支店 普通預金	70周年記念活動の積立資金であり特定費用準備資金として管理しているもの	400,000
	貸出活動準備資金	富山第一銀行 ニューセンター支店 普通預金	貸出活動の準備資金であり特定費用準備資金として管理しているもの	3,000,000
その他固定資産				12,940,851
	建物			4,861
	什器備品			300,002
	敷金			626,400
	長期性預金	富山第一銀行 ニューセンター支店 普通預金		4,269,909
				5,201,172
固定資産合計 (B)				18,142,023
資産合計 (A+B)=C				20,697,177
(流動負債)				
	預り金	源泉所得税	源泉所得税の預り分	15,643
		住民税	個人住民税の預り分	35,200
		雇用保険料	雇用保険料の預り分	27,736
				78,579
	賞与引当金	職員等に対するもの	職員等に対する賞与の支払いに備えたもの	409,333
流動負債合計 (D)				487,912
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員等に対するもの	職員等に対する退職金の支払いに備えたもの	1,856,000
固定負債合計 (E)				1,856,000
負債合計 (D)+(E)=F				2,343,912
正味財産 C-F				18,353,265

監 査 報 告 書

令和7年5月12日

公益社団法人富山県善意銀行

理事長 河合 隆 殿

公益社団法人富山県善意銀行

監事

北岡 勝

監事

本田正則

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、理事会等に参加するとともに理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。また、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 7 年度事業計画

健康で明るい社会づくりと、社会連帯の輪の一層の深まりを目指して日々の活動を進める。善銀活動の根幹を下記の五大活動（４つの公益事業と１つのその他の活動）とし、善意のかけ橋としての機能のさらなる充実・強化を図る。

「公益事業１」・・・みんなで育てる親切・善行活動

「公益事業２」・・・みんなで支える福祉活動

「公益事業３」・・・みんなで進める啓発活動

「公益事業４」・・・みんなで励ます貸し出し活動

「その他の事業」・・・みんなで広げる拡充活動

【公益事業１】みんなで育てる親切・善行活動

（１）親切運動の企画

- ・親切運動の企画・・・親切運動企画委員会からの提言
親切運動に関して県内有識者に広く意見を求める。
- ・親切運動委嘱校の選定・・・親切運動推進協力委嘱校
小・中・高の３校種から計２８校の推進委嘱校を選定し、運動推進の核とする。
委嘱は２年間とし、毎年半数を新たに委嘱する。
- ・親切運動の激励・・・親切運動推進の助成
委嘱校における親切運動の推進に必要な物品購入費、活動補助費等を助成する。

（２）親切運動の推進

- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開①・・・運動の依頼
親切運動の歴史や意義、取組例等について、文書で周知する。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開②・・・運動の具体
アルミ缶集め、挨拶運動の展開、親切運動の木の活動、あったか言葉の募集など活動の具体化を検討し、活動内容を決定する。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開③・・・運動の実際
②で決定した運動を児童会・生徒会・運営委員会等のリーダーシップのもと、実際に進めていく。
- ・親切運動推進委嘱校による運動の展開④・・・運動の見直し
１年間の実際の取組の成果を文書でまとめる。全委嘱校の取組をまとめて、県内全ての学校に配布する。

（３）親切運動の推進・強化

- ・親切運動の強調月間の設定
年に２回、春と秋に親切運動の強調月間を設定し、親切運動の徹底を強化する。
春・・・５月１８日～６月１８日
秋・・・１０月１８日～１１月１８日
特に学校以外への浸透を図るため、一般の人たちへの啓発活動に努める。
- ・標語・ポスターの配布・・・啓発活動
委嘱校を中心に、親切運動に関する標語・ポスターを配布する。

（４）親切・善行感謝の集い

- ・善行者の顕彰
公的機関（公民館、地区センター、学校長、県内善意銀行等）から推薦された地道に善行を実践している方々の善行を讃えて敬意を表し顕彰する。
- ・来場者への感謝・・・参加賞の交付

（５）県内善意銀行との連携

- ・親切運動に関する共通理解の促進
富山県内１４行の善意銀行が連絡協議会を開催し、連絡を密にしながら親切運動に関して共通事業を実施する。

- (6) 各種学校、公民館、地区センターとの連携
 - ・善行者の推薦、ポスター、標語の掲示

【公益事業2】 みんなで支える福祉活動

- (1) 社会福祉施設の子供たちを激励
 - ・ ひまわり映画会の実施（児童福祉施設へ映画チケット等費用の贈呈）
児童福祉施設の子どもたちが一緒に映画を観覧し友情を深め、教養を高める。
- (2) 障害者団体等社会福祉団体への支援、激励
 - ・ 障害者団体を通じた支援
各種団体が主催する行事（障害者成人式、周年行事、季節ごとのイベント、スポーツ大会等）の開催費等を補助する。
- (3) 難病とたたかう人たちへの激励
 - ・ 難病とたたかう方々への支援を行う。
- (4) 老人福祉施設利用者への激励
 - ・ 老人福祉施設に入所あるいは通所している老人の皆さんに趣味の世界を拡げていただくと同時に自らの作品をふりかえるきっかけにするため、県内善意銀行と共催で県内老人福祉施設等趣味の作品展を開催する。また、出展された施設ならびに個人に対して出展参加証を贈る。

【公益事業3】 みんなで進める啓発活動

- (1) 健康の増進、健康な生活に関する関心の拡大
 - ・ ポスターの掲示、リーフレットの配布
親切運動の拡充、福祉活動の徹底、啓発活動の推進を目指してポスターならびにリーフレットを公的機関（学校、公民館、地区センター等）に配布する。
 - ・ 三献運動の展開
三献運動（献血運動、献眼運動、献体運動）を拡げるため、富山県血液センター、富山県アイバンク、富山大学医学部しらゆり会等と連携を密にし、事業紹介に努める。
- (2) 預託者表彰
 - ・ 親切善行感謝の集いにおいて、富山県善意銀行推薦として多額の預託者を推薦、顕彰し、預託の輪の広がりを期待する。（全国表彰は現在中止）
- (3) 会報の発行
 - ・ 会員相互の共通理解の促進
会員相互の共通理解の促進と善銀活動の趣旨の徹底のため会報を年3回（5月、9月、1月）発行し、会員と県内公的機関へ配布する。
- (4) 善銀活動の趣旨の徹底
 - ・ 関係諸団体との連携
県（関係各部署）、市町村（関係各部署）、報道機関、社会福祉団体等への趣旨や事業の説明のため、小学校長会、中学校長会、高等学校長協会へ善銀活動を拡げるため、善意銀行紹介パンフレットを作成し配布する。
また、善意の提供者（金員預託、物品預託、ボランティアの提供等）を週に1度水曜日の北日本新聞の朝刊に善意のともしび欄で善行を紹介するとともに本行会報に掲載する。
 - ・ 本行の活動の広報の充実
県内報道機関に依頼して本行の活動についての広報の機会を増やす、ホームページやSNSを充実させ、県民への理解を深める。
- (5) 各地で発生した災害による被災者支援のよびかけ
 - ・ 被災者キャンペーンの実施
未曾有の大災害に遭った被災者を物心両面から支えるため、一刻も早い復旧を目指して支援の呼び掛けを行う。

【公益事業 4】 みんなで励ます貸し出し活動

- (1) 交通遺児、生活保護世帯児の皆さんを激励
 - ・福祉活動の趣旨に賛同される方々からの預託による貸し出し
交通遺児ならびに0歳から中学生の生活保護世帯児の皆さんを励ますために、ギフトカードを配布する。
- (2) 社会福祉施設入所者等を激励
 - ・歳末貸し出しの助成
老人福祉施設、養護施設の皆さんを励ますため、激励品を贈呈する。
 - ・年度末貸し出し
社会福祉団体等へ施設の運営に必要な物品の希望調査を行い、日常の業務に支障が生じている必要物品、必需品等を購入するための金員を贈呈する。
 - ・敬老の日お祝い貸し出しの助成
趣味の作品展当日に、社会福祉施設の皆さんを励ますため、激励品を贈呈する。
- (3) 発展途上国などの子供たちへの支援
 - ・日本赤十字社、ユニセフ、ユネスコ等との連携
発展途上国ならびに外国の大型災害による被災地への人々などへ支援を行う。

【その他の事業】 みんなで広げる拡充活動

- (1) 公益社団法人の広報
 - ・公益法人のメリット
税制上の優遇措置のお知らせ等を行い、県民の善意としての預託金が集まりやすくする。
- (2) 預託の拡充
 - ・企業、個人からの預託
個人には折に触れた浄財（年忌供養預託等）、記念預託（快気預託、誕生記念預託、各種イベント等）を呼びかける。また、各種施設（企業、公的施設、民間施設等）に善意のともしび箱（募金箱）の設置を依頼する。
- (3) 新規会員の拡充
 - ・新規会員の勧誘
新規会員を増やすため、活動紹介パンフレットならびに会報を郵送し、会員拡充を目指す。
 - ・色紙等頒布展における会員の拡充
色紙等頒布展を特別会員募集強調特設日として位置づけ、展覧会において展示した作品を入手希望される方々には、新規会員として登録し、そのご芳志を特別会員会費として処理し、善銀活動に善用する。
- (4) 同種活動機関との連携
 - ・研修会への参加
全国善意銀行連絡協議会が行う‘総会’‘研修会’‘定例会’は、現在中止。
県外善銀とは、文書や電話連絡等で情報交換を行う。
 - ・社会福祉施設等との情報交換
社会福祉関係施設等の現場のニーズを把握するために施設等と情報交換を行う。
- (5) 県内善意銀行との連携
 - ・県内14善意銀行との連携を密にし、研修会（定例研修会：6月実施）を実施し、共通理解を図る。また、老人福祉施設等趣味の作品合同展、親切善行感謝の集い等を共同事業として実施する。

収支予算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[6,200,000]	[6,400,000]	[△ 200,000]
正 会 員 受 取 会 費	3,500,000	3,600,000	△ 100,000
特 別 会 員 受 取 会 費	2,700,000	2,800,000	△ 100,000
受 取 補 助 金 等	[981,000]	[981,000]	[0]
受 取 補 助 金 等 振 替 額	981,000	981,000	0
受 取 寄 付 金	[9,850,000]	[9,500,000]	[350,000]
受 取 寄 付 金	7,000,000	6,500,000	500,000
募 金 収 益	150,000	200,000	△ 50,000
受 取 寄 付 金 振 替 額	2,700,000	2,800,000	△ 100,000
雑 収 益	[14,000]	[13,100]	[900]
受 取 利 息	1,000	100	900
雑 収 益	13,000	13,000	0
経常収益計	17,045,000	16,894,100	150,900
(2) 経常費用			
事 業 費	[15,630,813]	[15,624,000]	[6,813]
給 料 手 当	3,908,040	3,847,500	60,540
福 利 厚 生 費	675,000	675,000	0
旅 費 交 通 費	40,000	40,000	0
通 信 運 搬 費	667,000	720,000	△ 53,000
減 価 償 却 費	4,373	27,000	△ 22,627
消 耗 品 費	120,000	70,000	50,000
印 刷 製 本 費	735,000	735,000	0
光 熱 水 料 費	54,000	63,000	△ 9,000
賃 借 料	1,120,000	1,170,000	△ 50,000
諸 謝 金	120,000	120,000	0
支 払 助 成 金	4,910,000	4,910,000	0
指 定 貸 出 事 業 費	2,500,000	2,500,000	0
賞 与 引 当 金 繰 入	368,400	355,500	12,900
退 職 給 付 費	279,000	261,000	18,000
雑 費	130,000	130,000	0
管 理 費	[3,330,646]	[3,401,000]	[△ 70,354]
給 料 手 当	434,227	427,500	6,727
福 利 厚 生 費	75,000	75,000	0
旅 費 交 通 費	50,000	50,000	0
通 信 運 搬 費	393,000	395,000	△ 2,000
減 価 償 却 費	486	3,000	△ 2,514
消 耗 什 器 備 品 費	50,000	50,000	0
消 耗 品 費	370,000	430,000	△ 60,000
印 刷 製 本 費	395,000	445,000	△ 50,000
光 熱 水 料 費	6,000	7,000	△ 1,000
賃 借 料	445,000	445,000	0
諸 謝 金	480,000	450,000	30,000
支 払 負 担 金	40,000	40,000	0
会 費	(220,000)	(220,000)	(0)
総 理 会 費	100,000	100,000	0
事 業 費	60,000	60,000	0
会 議 飲 食 費	60,000	60,000	0
新 開 図 書 費	55,000	50,000	5,000
賞 与 引 当 金 繰 入	40,933	39,500	1,433

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
退職給付費用	31,000	29,000	2,000
雑費	245,000	245,000	0
経常費用計	18,961,459	19,025,000	△ 63,541
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,916,459	△ 2,130,900	214,441
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,916,459	△ 2,130,900	214,441
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,916,459	△ 2,130,900	214,441
一般正味財産期首残高	10,702,367	11,104,410	△ 402,043
一般正味財産期末残高	8,785,908	8,973,510	△ 187,602
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[981,000]	[981,000]	[0]
受取地方公共団体補助金	900,000	900,000	0
受取地方公共団体助成金	81,000	81,000	0
受取寄付金	[2,700,000]	[2,800,000]	[△ 100,000]
受取寄付金	2,700,000	2,800,000	△ 100,000
一般正味財産への振替額	[△ 3,681,000]	[△ 3,781,000]	[100,000]
一般正味財産への振替額	(△ 3,681,000)	(△ 3,781,000)	(100,000)
地方公共団体補助金	△ 900,000	△ 900,000	0
地方公共団体助成金	△ 81,000	△ 81,000	0
寄付金	△ 2,700,000	△ 2,800,000	100,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	7,684,851	5,684,851	2,000,000
指定正味財産期末残高	7,684,851	5,684,851	2,000,000
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	16,470,759	14,658,361	1,812,398

《資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類》

(1) 資金調達の見込みについて

令和7年度中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

令和7年度中に設備投資の予定はありません。

令和7年6月

公益社団法人富山県善意銀行

【新役員】(案)

理事 岩本聡 佐藤一絵 神川康子 高野二郎 品川祐一郎 大岩久七 織田久光
若林恒夫 五十嵐星子 杉浦敬美 井口裕介 東出悦子(外部理事) 武内孝憲
長原好成

監事 北岡勝 本田正則(外部監事)

退任役員 **理事** 河合隆 室尚志 榊田隆一郎

会員の皆様へ

本行行事のご案内

「第54回趣味の作品合同展」

日時 令和7年9月18日(木)～19日(金)

場所 富山県民会館 美術館B

「第63回善意色紙等頒布展」

日時 令和7年12月5日(金)～7日(日)

場所 富山県民会館2階ギャラリーA・B

富山市新総曲輪4-18 TEL 076-432-3111

「第62回 親切・善行 感謝の集い」

日時 令和8年2月14日(土)

場所 富山県教育文化会館大ホール

富山市舟橋北町7-1 TEL 076-441-8635

実施についてはホームページで確認ください。